

事業概要シート

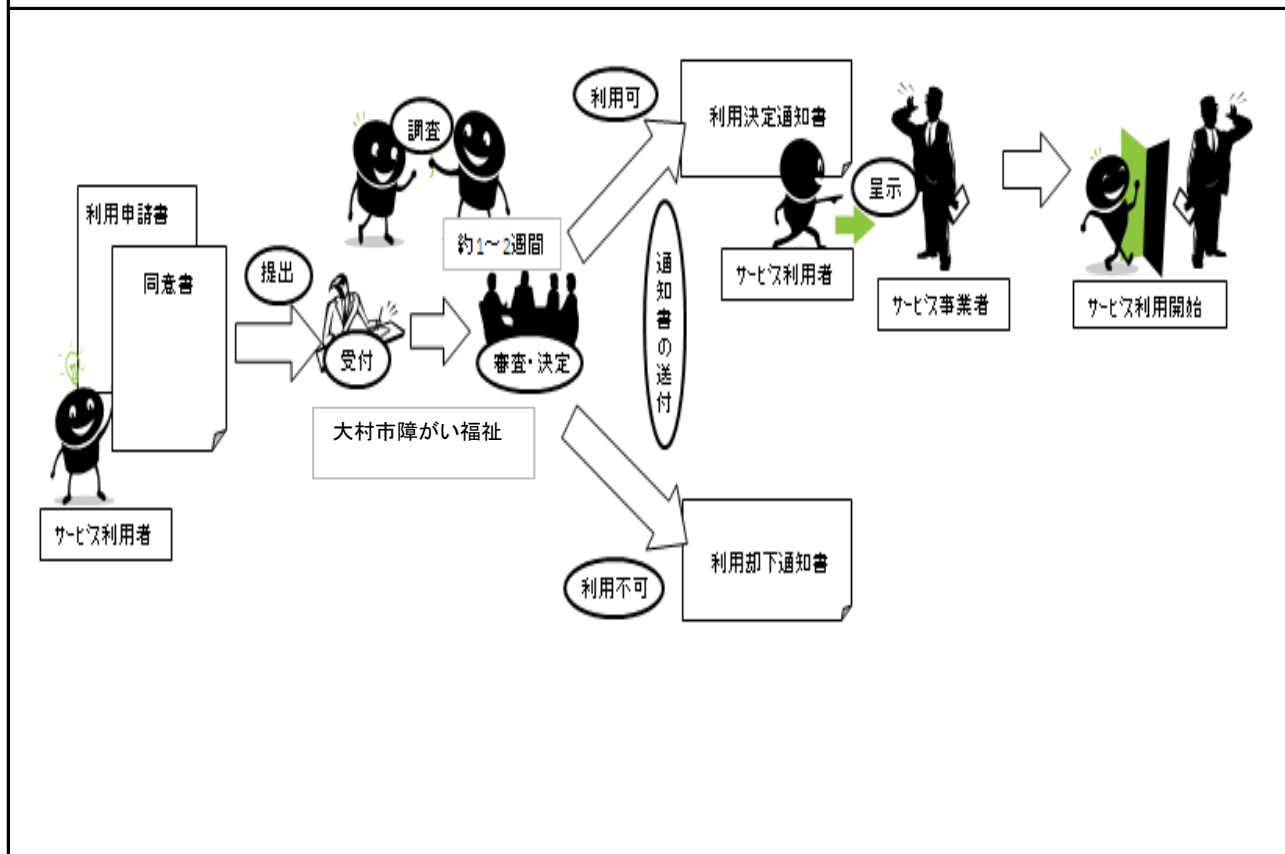
施策： 障がい者の社会参加の促進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 外出支援サービス事業	現状維持	予算額	1,134 千円
			《 1,048 》
財源内訳		国庫支出金	0 千円
		県支出金	0 千円
		地方債	0 千円
		その他	0 千円
		一般財源	1,134 千円

【事業の目的・概要・対象】

市内に住所を有する在宅の障がい者で市民税非課税者のうち、寝たきり等のためストレッチャーを利用しなければ外出（通院）が困難な障がい者に対し、支援をすることで本人及び家族の負担軽減を図る。



【背景】

寝たきり等で、自家用車や公共交通機関等での移動が困難な障害者が市内の医療機関へ通院する際に、市がその移動手段を確保する必要があった。

担当課	福祉保健部 障がい福祉課	問合せ先	0957-20-7306
-----	--------------	------	--------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	利用人数	人	1	1	1	1	1
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	利用回数	回	306	312	312	312	312
②							

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	837	1,485	1,047	1,048	1,134	1,134	6,685
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	837	1,485	1,047	1,048	1,134	1,134	6,685
人件費	680	494	436	436	218	218	2,483
職員	0.09人	0.07人	0.06人	0.06人	0.03人	0.03人	0.34人
時間外勤務	0h	0h	0h	0h	0h	0h	0h
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	1,517	1,979	1,483	1,484	1,352	1,352	9,168

妥当性 (市の関与)	寝たきりの状態にある障害者が住み慣れた自宅で療養生活を継続するために、人工透析等を目的とした通院の支援は必要である。
有効性 (施策貢献度)	介護を行う家族の負担軽減につながる。
効率性 (コスト)	ストレッチャーを用いての移送サービスはコストが高いため、委託料単価の見直しの余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり